

彩雲

あ や ぐ も

AYAGUMO

2015

vol.
112

発行日 7月13日

Contents

巻頭言	1
1学期の行事	2～5
響きあうまちと学校	6
陸上競技部報告	7～8
クラブ活動報告	9～10
TOPICS	11

ANJO GAKUEN



学校法人安城学園 安城学園高等学校

〒446-8635 安城市小堤町4-25 TEL.0566-76-5105(代) <http://www.angaku.jp/>

poem

巻 頭 詩

「心に太陽を持て」

フライシュレン（翻訳 山本有三）

心に太陽を持て。
あらしが ふこうと、
ふぶきが こようと、
天には黒くも、
地には争いが絶えなかりと、
いつも、心に太陽を持て。

唇に歌を持て、
軽く、ほがらかに。
自分のつとめ、
自分のくらしに、
よしや苦勞が絶えなかりと、
いつも、くちびるに歌を持て。

苦しんでいる人、
なやんでいる人には、
こう、はげましてやろう。
「勇気を失うな。
くちびるに歌を持て。

principal
speech

巻 頭 言

朝、起きたら家の前を掃除する

ヨーロッパでは朝、起きて最初にやる仕事は家の前の掃除をすることだと、私が20代の頃、ヨーロッパを旅行している時に現地の人から聞いたことがあります。

なぜ、朝、最初にやる仕事が家の前の掃除ですか、と尋ねたら、家の前を通る人に気持ちよく歩いて頂くために掃除をする、それは当たり前のことですと不思議そうな顔をして答えられました。

日本ではまず、最初にするのは家の中の掃除で、家の外の掃除は後廻しになっているように思えたので新鮮な驚きでした。よく考えてみれば納得できる話でした。それ以来、私は意識して家の前のゴミは最低限、拾うように心がけています。

家の前の掃除は、挨拶と同様に他の人への心遣い、思いやりの一つの表現です。そして周りの人を元気にする表現です。

他の人に対する心遣い、思いやりは大切です。朝、起きたら家の前を掃除する、みんなに挨拶する。通学路では道を譲る、周りの人に対して優しくする、苦しんでいる人、悩んでいる人には手を差し伸べる、そうした心遣い、思いやりが社会に温かさを作り出していきます。

安保保障関連法案の行方が気になります。争いは心遣い、思いやりの対極にある行動です。争いのない社会を構築することが今、一人一人に求められています。観客や評論家でなく、社会を作り出すプレーヤーとして心遣い、思いやりを今まで以上に意識して毎日を送る必要を感じています。意識を変えることは重要なことです。朝、起きたら家の前を掃除する。明日の朝から実践してみませんか。



安城学園高等学校
校長 坂田 成夫

3月～7月 School Events の行事

国語科創造発表

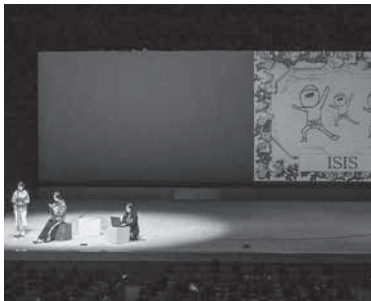
2015年3月13日(金)
安城市民会館サルビアホール

安城学園の国語の授業では、ずっと以前から「表現」に取り組んできました。表現力は読解力とともに国語の重要な力です。小論文・作文・面接試験のために必要であるのはもちろん、社会人になっても必要とされる力です。そのためには、感じる力・考える力も必要です。「創造」ではそれらの力と同時に、協力する力も伸ばしていきます。

国語科教諭 藏野辰徳

今年も国語科による創造発表会が行われました。創造は、表現を大切にする授業です。生徒自身が調べた内容をいかにわかりやすく他者に伝えることができるかを考え、発表します。毎年各コースが特色を出して発表しますが、今年は劇による発表が比較的多くありました。表現方法として面白かったものとして、例えば、「ISIS (イスラム過激派組織)」を発表したクラスは、とにかく言葉を噛み砕いて、普段自分たちが使っている言葉に変えることで、生徒から高評価を得ていました。また、男子4人で挑んだ「もしもBOX」はコミカルな動きで観ている生徒の心を掴みました。1年1組が行った「バキスタンの少女の物語」は、熱の入った演技や英語のスピーチ、クラスの団結力を観ることができ、自然と主人公に感情移入し、涙する生徒もいました。

普段何気なくしているコミュニケーションですが、人に思いや物事を伝えるということは簡単そうで、とても難しいことです。今年もこの授業を通して、そのことを生徒は知ることができました。創造力、表現力豊かな生徒が、今年も素敵な授業(舞台)を作ってくれました。



2014年度 合唱コンクール

2015年3月18日(水)
安城市民会館サルビアホール



最優秀賞1年4組を指揮して

普通科2年4組

平井那衣梨

梅坪台中学校出身

私たちのクラスは、合唱曲「あなたへ」を歌いました。もともと合唱部の子や歌うことが好きな子が多く、クラスの仲間良かったので、練習に心配はありませんでした。しかし、このクラスで行う最後の行事だったので、指揮をする私も伴奏者をする子もリーダー会も絶対に良い思い出にしたいと思っていました。どうしたら、もっと上手になるか、みんながやる気になるか、リーダー会を中心に話し合ったり、手書きの歌詞を教室の壁に貼ったりして、本番に向けて環境づくりをしていきました。また、一週間くらいでしたが、留学生のローヤさんもクラスに来て、みんなで歌をうたえることが、とても素晴らしいことだと教えてくれました。本番は、本当に一瞬でしたが、結果発表のとき、たくさんの子が歓声を上げて涙を流して喜んでいる姿が一番印象に残っています。

最優秀賞1年4組を伴奏して

普通科2年2組

山本帆純

幸田中学校出身

合唱コンクールと言えば、私たち安城学園高校では、1年生として最後の行事です。「一生の思い出になるから絶対に失敗してはいけない」というプレッシャーがありながら、それを乗り越えることができたのはクラスのみんなのおかげです。「1年4組は歌が上手い」と評判になってから、私には伴奏者という大役を任うことがあまりに重く、恐れ多くて、とても務まる気がしませんでした。しかし私はみんなに背中をおされ、やっと引き受ける覚悟ができました。今思えば、他の行事ではあまり活動できなかった私だけ、合唱コンクールがあったからクラスに貢献できたということを楽しんでいます。本番だけではなく、普通の練習から緊張感をもって取り組んだこと、周りの人の協力、やる気があったからこそその優勝だったと私は誇りに思います。

2年生修学旅行

2015年3月12日(木)～15日(日) 北海道A・沖縄・北九州・屋久島コース

2015年3月12日(木)～16日(月) シンガポールコース

2015年3月13日(金)～16日(月) 北海道Bコース

2年生修学旅行を終えて

3年学年主任 桃木雅代

本校の修学旅行は、北海道A・B、沖縄、長崎、屋久島、シンガポールとそれぞれ自分で選んで参加するメニュー形式の修学旅行です。それぞれに工夫が凝らされたメニューで、現地の人たちとふれあうホームステイや現地ならではの体験などを満喫しました。まずまずの天候にも恵まれ、今暮らしている場所とは文化や環境、気候の異なる中で、人々の歴史や平和への祈り、戦争の惨禍についても深く学ぶことができました。日常とは違う空間の中で友達のような面を発見して友情を深めた子達もいます。特にホームステイを経験した生徒の中には今でも現地の方と連絡を取りながら、自分でもう一度その場所を尋ねる予定にしている生徒もいます。普通の旅行では得られない貴重な体験を、自分の未来に向けて視野を広げる形で活かすことを期待しています。旅行を実施するにあたり、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。





生徒会主任 和田圭吾

運動部・文化部共に趣向を凝らした紹介や「アリスの不思議な世界」をモチーフとした学校紹介・行事紹介に1年生は圧倒されていました。その後、第27次創作ミュージカル「3分後の時計」が上演され、彼ら・彼女らが生まれる前から脈々と受け継がれてきた安城学園の自主活動の魂が伝えられました。午後にはミュージカルの一般公演が開かれ、ひたむきな演技と美しい歌が多くの感動を呼びました。

2年

沖村朱音

豊南中学校出身

正しい物は何か、信実に目を向けなければならないというメッセージが伝わってすごく感動しました。でも最終的にハッピーエンドという訳でなくて、これから頑張っていくという面で終わっていましたが、昨年のミュージカルのように、悪役だった人の心も救われるべきだと思うのです。皆に恨まれ、これから戦っていく最後ではなく、全員が平和になれば良いというのが、私の意見です。一人一人の演技がとても良かったです。来年はキャストで参加したいです。

来場者の感想

□ 高校生 生徒

「目を背けてきた物を見る」この言葉にものすごい重みを感じました。今の社会と照らし合わせた時に近いものを感じ、この劇で言っていた発言の自由や構想・行動がなくなり、戦時中の様になるかもしれない。過去から学ぶと、このように言われる気がします。動いてどうかなるのかではなく、今動くことに意味があると思います。いつか、こんな劇すらもできなくなることを願います。来てよかったです。ありがとうございました。

□ 70歳の安城学園卒業生

近くに住んでいますが、いつも何かと重なって見学できませんでした。今日、初めて観させてもらい感動しました。現在70歳の卒業生ですが、私の時代と随分と変わってびっくりです。

□ 安城学園高校卒業生

毎年、楽しみにして観に来ています。今年も観れて良かったと思える素晴らしい作品でした。テーマが重かったりキャラが濃かったりと安学ミュージカルらしさがたっぷり出ていて今回の作品も大好きです。来年も絶対来るよー。

□ 安城学園高校卒業生

今回のミュージカルは内容が難しくて分からない部分もあったけど、楽しく観ることができました。書き割りもいつもと違った感じだった気がした。足音とか物を置く音が少し目立っていた気がした。ミュージカルで出会った仲間は本当に大切。私がミュージカルをやっていた時は本当に苦労したから、みんなも苦労したと思います。ここでの経験は、これから先に役立つことがあるから。お疲れ様でした。次も楽しみにしています。

□ 在校生の保護者

素晴らしい内容の劇でした。こんないい先輩のいる学校に入学させて良かったです。合唱の声も良かったです。「前へ前へと歩き出そう」自分の今を反省したくなります。

□ 在校生の保護者

日頃、先生方みなさんに支えられて一生懸命練習してきた事が発表できて良かったと思います。娘の友人の演技や踊っている姿を観ることができて良かったです。この様な活動をする機会を与えていただき、ありがとうございました。

□ 在校生の保護者

皆さん、お疲れ様でした。少し聞き取りづらい所もありました(緊張?)。時間の都合もあるのですが、言葉一つ一つが聞き取れ伝わるともってメッセージが受け取りやすかったと思います。限られた時間の中での練習は大変なものがあったと思います。大人数で一つの物にするのは並ならぬ努力が必要です。それをすごく感じられました。若いっていいな。しっかり休んで下さいね。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

□ 一般来場者

みなさんお疲れ様でした。最近は卒業フェスティバルでミュージカルを観ることが多く、一般公開で観るのは初めてでした。多分とても頑張ったのだらうと思います。このような機会、なかなかないので安城学園で生活していく上でも大切に下さい。素敵な台詞がいっぱいでした。昼間さおりさん、喜納茉莉由さん、柳瀬先生、毛受先生、みなさんお疲れ様でした。

□ 一般来場者

学業の中で、よく熟した演技をここまでやるとは想像してませんでした。舞台のセットや音楽もすべて自前なのでしょう。こういう長時間かけてやる行事を皆でやる中に社会に出てからの、段取り、後始末をする大切なやり取りを育む事ができます。出演された皆さんご苦労様。次年度も楽しみにしています。

□ 一般来場者

学生が頑張っている姿はとても素晴らしいと思います。たくさんの練習をしてきたと思います。マリコの歌声とマリコ、ヤンの演技はとても素晴らしく、これからも続けていってほしいと思います。ただ欲を言えば、脚本での見せ場が分からなかったのと「ん?」と思う部分があって、話がまとまっていない印象を受けました。題名ももっと活かせる方法があったと思います。厳しい意見かもしれませんが、今後の参考になればと思います。来年も頑張ってください。

□ 一般来場者

声も大きく、後の席にいてもよく聞こえました。とても楽しくミュージカルを見せていただきました。ありがとうございました!!リズムミカルな曲ですね。口ずさみたくなります。

□ 一般来場者

皆さんの頑張りが伝わりました。

フレッシュマンキャンプ

第1パート 4月14日(火)～15日(水)

第2パート 4月15日(水)～16日(木)

大芝荘(長野県上伊那郡南箕輪村)

阿南少年自然の家(長野県下伊那郡阿南町)

駒ヶ根ふるさとの家(長野県駒ヶ根市)

新たな道を踏み出しました ～フレッシュマンキャンプを終えて

1年学年主任 黒柳 貴夫

今までとはまったく異なる環境で高校生としての第1歩を踏み出した新入生たちは、とにかく不安でいっぱいです。高校生活とはどんなものなのだろう?学習にはついて行けるだろうか?クラブ活動は厳しいのか?そして何よりも学校生活の多くを過ごすことになる教室で友達はあるだろうか?クラスにはどんな子たちがいるのだろうか?そんな不安を少しでも早く解消して、高校生活に前向きに踏み出していくことがフレッシュマンキャンプの目的です。

1泊2日しかありませんでしたが、生徒は討議やレクリエーション、3年生アシスタントによる話を通して、お互いのコミュニケーションをはかり、これからの生活へのよりどころとなる仲間作りをしていきました。それぞれの生徒が少しずつ勇気を持って歩み寄り、自分の居場所作りをし始めたのです。そしてその中で、これからの高校生活で自分が大切にしなければならないことは何なのか、高校生活の目標、それに対する決意などをそれぞれが考えることができました。帰ってきた彼らの瞳が、出発前の不安げな光から自信に満ちた光に満ちたものに変化していることを嬉しく思います。ここからの3年間に期待しています。



1年

伊藤明香里

高浜中学校出身

私たちのクラスは、「助け合い、けじめをつけ、英語の飛び交う、家族のような存在になろう」をクラス目標にしました。困っている子がいたら手助けをしたり、楽しむときは楽しみ、集中するときは集中して行動したいと思います。また、英語の飛び交う環境が成

り立っているのは英語コースだけだと思うので、日常でいろいろなこと会話しながら英語を使っていきたいです。

フレッシュマンキャンプを終えて、学校であまり話せなかった子と話したり、みんなで協力し合えることができたと思うので、日常生活の中でも学んだことを活かしていきたいです。また、アシスタントの方がいろいろな準備をし、いろいろなことを教えてくださいました。先輩方に感謝し、あんなふうになんか役に立ちたいと思いました。そして挑戦することが大事なのだと改めてわかりました。私には、挑戦しない方が失敗しないという考えがありました。挑戦がなければ成功もないということがわかりました。失敗を恐れずいろいろなことに挑戦し、いっぱい失敗をして自分を成長させたいです。

1年

早川真央

東海中学校出身

入所式、ガイダンスではクラスの代表として「おもいでぐさ」の感想を読みました。とても緊張し声が出るえてしまったけれど、これからもこのような機会が多

くあると思うので、慣れていきたいと思います。1回目の討議ではクラスレクをしました。グループに分かれて頭を使ったり、体を動かしてすごく楽しめました。夕方のBBQでは班で協力することで、みんなと仲良くなったという実感がわいてきました。2回目の討議では、一人一人の思いや抱えていたことを聞いてみんなの普段と違う一面が見られた気がしました。3回目の討議では、どのようなクラスにしたいか、みんなで意見を出しました。その結果「空飛ぶ苺屋」という級訓に決まりました。レクや討議などでみんなのことをより知ることができたからこそ、この級訓が生まれたと思います。苺屋のみんなは優しく、いい意味でうるさくて、面白くて、相手の痛みをわかってあげられるあたたかいクラスです。これからの1年が、この2日間で不安から期待・楽しみへと変わりました。アシスタントとして5組をお世話くださった、りな先輩にも感謝の気持ちでいっぱいです。

1年

横家みやび

六ツ美北中学校出身

フレッシュマンキャンプを終えて、2つのうれしかったことがあります。1つ目は友だちを増やすことができ、もっと仲良くなったことです。話したことのない子とは自己紹介などで会話することができ、友だちづくり

りすることができてよかったです。友だちの人柄をもっと知ること・知ってもらえることができ、協力して助け合い信頼できるようになったこともよかったです。

2つ目は、退所式で「これからの高校生活について」を発表したことです。大勢の前で話すことが苦手やりにくいなと思っていましたが、みんなが「がんばれ!!」「自信もって!!」と声をかけてくれて、がんばることができました。アシスタントさんはニコニコしてくれていたし、みんなは真剣な顔で話を聞いてくれました。やってよかったと思うことができたし、このような機会を与えて応援してくれたアシスタントさんに感謝したいと思います。

フレッシュマンキャンプ行くことができたのは両親や先生たちのおかげです。いろいろな人に支えられてすごうれいいます。いつかは自分が支えてあげられる人となり、いろいろな人を助けていきたいです。

1年

上村菜々美

瀬戸南山中学校出身

このキャンプが、こんなに内容の濃いものになるとは思っていませんでした。行きのバスでは普段会話をしない人ともたくさんかわることができました。寺部だい先生のこと、安学の歴史を少しづつ

知ることができました。時間を守れず怒られたときには、自分たちの考えの甘さを痛感しました。クラスのみんなで話し合ったり、班ごとでミッションをやって正解したときには、班のみんなで協力したんだという達成感がありました。夜のBBQは女子が食欲がありすぎて驚きました。自分の過去の話などのときには、クラス一人ひとりの違う一面を見ることができました。

夜の部屋では3年生の先輩いろいろな話ができてとても楽しかったです。このキャンプで、自分は何のために安城学園に来たのか、何を目的としていたのか再確認することができました。日本一になるためにたくさんのバスケの技術を学んで、辛いときも何のためにここに来たのかを思い出して、私を支えてくれている人のことを忘れずに頑張っていきたいです。

生物セミナー

5月22日(金)～24日(日) 設楽町「きららの里」



2年

一見ひろ子

幡豆中学校出身

例年開田高原にて実施している本セミナーですが、今年は設楽町『きららの里』にて生徒20名で開講させていただきました。渓流での釣り体験や水晶の採集、原生林散策など教室内では味わえない自然を経験することができました。本セミナーを通して、生徒の中に新たな発見や興味が芽生えてもらえれば幸いです。

「きららの里」はログハウスだったので、すごく落ち着くことができ素晴らしかったです。おかげで、馴れない環境でも良く眠ることができました。

また、何と言っても水晶が採取できる山に行けたことが嬉しかったです。5～10mmほどの小さな水晶でしたが、ちゃんと六角形になっていて美しかったです。たくさん採ることができました。散策の最中も、ハルゼミやイトトンボを捕まえました。生物がいっぱいで楽しかったです。他学年の子たちとも交流できて、面白おかしく過ごすことができました。来年も絶対に行きます!!



体育祭

6月2日(火) 城南グラウンド

体育祭は、多くの種目を手際よく進行された体育科の先生方、設営から撤収までを担ったクラブの補助生徒たち、生徒会や吹奏楽部などの奮闘があって成功しました。多くの先生方の協力もあり、本校らしい体育祭になったと感じます。ハチマキや学級旗づくりで中心メンバーが成長したり、雰囲気良くなったりしたクラスもあります。



2015年度 体育祭全校総合優勝!

普通科1年9組

山本幸奈

竜北中学校出身

1年生にとって、初めての体育祭でした。1年9組は運動部の人が多いです。たくさんの方が毎日練習をがんばっています。運動部に入っていない子たちも、競技に参加したり、応援したりして自分のできることを一生懸命やってくれました。特に、綱引きでは男子が頑張ってくれて、上級生に勝ち、2位になりました。控え場所に戻ってきて、みんなの手に血マメができていたのを見た時、本当に感動しました。女子だけで跳んだ縄跳びでは心を1つにして、声をかけ合って跳びました。高跳びで一人ががんばっている子の方に行きって励ましていた子たちもいました。一人で走る種目もリレーもみんなで応援しました。みんなの力を集結して取れた優勝だと思います。この体育祭を通し、クラスの仲間をより知ることができ、団結力や仲の良さも深めることができたと思います。

吹奏楽部

第2回フレンドコンサート

5月10日(日) 安城市民会館サルビアホール

音楽を通じて、たくさんの方とつながりたい!

3年

重光由衣

前林中学校出身

5月10日に、東京都から東海大学附属高輪台高等学校を迎え、第2回フレンドコンサートを行いました。フレンドコンサートでは、音楽を通じて、高輪台高等学校の皆さんや出演してくれた中学生、そして会場まで足を運んでくださったたくさんの方々とのつながりができました。演奏会を開くにあたって、関わってくださった全ての皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。私たちは、これからも演奏を聴いてくださった方が幸せな気持ちになれるような、そんな演奏を目指して活動していきます。



第55回定期演奏会

6月20日(土)

刈谷市総合文化センターアイリス

笑顔と感謝

3年

黒島 渚

高浜中学校出身

第55回安城学園高校吹奏楽部定期演奏会は、たくさんの方々の支えによって、笑顔あふれる素敵な演奏会となり、大成功することができました。新体制での初めての演奏会だったので、成功させることができるのか、と不安ばかりでしたが、一人一人が笑顔や感謝の気持ちを大切に、ステージ上だけでなく、お客様にも楽しんでいただくという精神を大切にいくことで、良いものにできたと思います。来てくださったお客様、支えてくれる家族、応援してくださる方々、ご指導してくださる先生方、一緒に頑張れる仲間、全ての人に感謝をし、これからも笑顔で、心の底から楽しい音楽を作っていけるよう努力していきます。

憧れのファーストステージを演奏して

1年

鬼頭 泉

東京日本橋中学校出身

まだ入部して2ヶ月しか経っていない中、60人を超える1年生全員で迎えたファーストステージ。最初は不安でしたが、無事に楽しんで終えることができました。今までずっと憧れていたステージに立ち、演奏することができたのも、本番直前まで私たちにたくさんのアドバイスや温かい声をかけてくださった先生、そして先輩方、わざわざ遠いところ、演奏会に足を運んでくださった方々のおかげです。本当にありがとうございました。演奏会の日を迎えるまで、たくさんの試練や困難がありましたが全員で乗り越えることができました。この日のことを忘れず、これからもっと成長できるように練習に励んでいきたいと思っています。



土曜講座

5月16日(土)、6月6日(土)

「エコ工作」「チアダンス」「詩吟」「和菓子づくり」「ひよこちゃん英語」「健康吹き矢」「コンピュータ教室」「にじいろキッズ ポッキー先生の体操教室」など、毎回110名近くの父母・市民・小学生らが参加し、楽しく学び、体験する姿がありました。年間8回開講予定で、どなたでも参加できます。今後、本校生徒が主体となった講座や、フィールドワークも開講予定です。



大活躍！陸上競技

3年 中野真琴さん
女子200m(24秒38)で日本陸上6位！

去る6月27日(土)、新潟県新潟市デンカビッグスワンスタジアムで行われた「第99回 日本陸上競技選手権大会」において、女子200mに3年生の中野真琴さんが出場！24秒38のタイムで6位入賞という好成績をおさめました！高校生で日本陸上競技選手権大会に出場することは、とても素晴らしいことです。

このように素晴らしい活躍を続ける陸上部のみなさんの、「第62回東海高校総体陸上競技大会」での様子をご紹介します。



短距離ブロック

感謝の気持ちを忘れず走る

3年

中野真琴

豊橋東部中学校出身

8月に和歌山県で行われる全国高校総体に100m、100mハードル、4×100mリレー、4×400m(マイル)リレーの4種目の出場を決めました。その地区予選となった東海総体はレベルが高く勝ち抜くことはとても大変なことでした。個人的には100mは予選・準決・決勝と1日に3本走らなくてはなりません。なおかつリレーも同じ日でしたので1日に100mを6本全力で走りました。3日間、足に違和感も残る中でケアをしながら慎重に臨みました。最終種目となったマイルリレー(1人で400m走る)はアンカーがゴールする瞬間まで結果はわからず、もつれにもつれ手に汗握るレースでした。マイルリレーは春にはインターハイは難しいと思われるほどのレベルだったからこそ、5位確定がわかった時にはチームみんなが歓喜に沸きました。私は3日間で11本のレースを走り抜き、終わった時にはホッとした気持ちが大きかったです。私やリレーのメンバーが力を発揮できたのは、先生方や仲間のサポート、応援があったからです。皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、インターハイでしっかり自分たちの走りをし、恩返ししたいと思います。応援よろしくお願いします。

部報告

第62回 東海高校総体陸上競技大会 開催期間／6月19日～21日 会場／静岡県 小笠山総合運動公園 エコパ



投擲・混成ブロック

多くの感動を

3年
大浦 優汰
六ツ美中学校出身

東海高校総体で、八種競技で2位になりインターハイ出場を決めることができました。高校に入って初めて立つ全国の舞台にとってもワクワクしています。八種競技というのは、2日間で8種目の競技を行いその記録を得点に換算して合計得点を競う競技です。東海総体は梅雨真っ只中の天候となり、雨の中で8種目こなしていくことはとても過酷なものでしたが、一緒に八種競技に出場し、2日間を戦った他校のライバルや、多くの声援で支えてくれた仲間がいたからこそやり抜くことができました。しかし、まだまだ納得はしていません。インターハイまでの残された時間の中で、さらに強くなって全国の舞台で堂々と勝負してきます。今まで支えていただいた方々へ感謝の気持ちを忘れず、一人でも多くの人に感動を与えられるような「走り・跳躍・投擲」をします。応援よろしくお願いします。

投擲ブロック

Challenger

2年
白藤聖陽
矢作中学校出身

砲丸投げでインターハイの切符をつかむことができました。東海大会へはハンマー投げ、円盤投げ、砲丸投げと3種目出場していましたが、1日目のハンマー投げ、2日目の円盤投げでは自分の思うような投げができず、少し不安がよぎる中での3日目の砲丸投げでした。雨で足元も手元もすべり、多くの選手が苦戦する戦いは自分も例外ではありませんでした。2投目が終わり決勝に残れるかどうかの記録の時、少し焦りもありました。勝負の3投目の前に顧問の石田先生に『喝』を入れていただき、自分に自信が戻ってきた投げは自己最高記録。トップで決勝へ進むことができました。決勝ではライバルの選手と投げ合いとなり、自分が投げれば相手もそれを超えてくるというエキサイティングな勝負となり会場も沸きました。結果は3位。念願のインターハイを決めることができました。しかし、この結果は自分一人では成し遂げられなかったと感じています。もっともっと一人でも戦える力をつけて、インターハイは「挑戦」を合言葉に、2年生らしく思い切り、楽しんで戦ってきます。和歌山の地で安学の名を轟かせます。『Do your Best』安城学園陸上競技部

跳躍ブロック

全国で戦う

3年
金城柚花
鶴城中学校出身

今回の東海総体は、走り高跳びで4位という結果でインターハイ出場を決めることができました。今年は愛知県の女子走り高跳びのレベルが高く、今回の東海大会でも、試合でバーの高さが上がるにつれて、残る選手の姿は愛知県勢ばかりとなりました。結果を見るとインターハイ出場権を獲得できる6位以内のうち、5人が愛知県の選手でした。私の今回の試合内容は満足できませんが、雨という悪天候の中、緊張感のある勝負どころの試合で、自己ベストタイ記録をきっちり跳ぶことができインターハイを決められたことは、みなさんの応援・仲間のサポートのおかげです。インターハイはさらにレベルの高い試合になることが予想されますが、そこでしっかり勝負するためにも、気持ちを高め、応援してくださる方への感謝の気持ちを忘れず、入賞目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。

長距離ブロック

全国へチャレンジ

1年
宇野佑紀
常磐中学校出身

東海高校総体では800mに出場し、2分12秒69の自己ベストで3位入賞を果たし、インターハイ出場を決めることができました。決勝のスタート前はとても緊張していましたが、スタンドから声援を送っていただき、緊張がほぐれ自信をもってスタートを切ることができました。考えていたレース展開は、はじめは先頭集団についていき、残り200mでスパートをかける作戦でした。全員を抜いて一番でゴールに飛び込むんだという気持ちで、積極的なレースができました。インターハイまでまだ時間があるのでここで満足せず、練習をしっかりとこなし力をつけていきます。全国の舞台でどこまで通用するかわかりませんが、1年生らしく元気に臨んできます。インターハイでもチーム全員で戦い、安学旋風を巻き起こしてきます。応援よろしくお願いします！



クラブ活動報告

女子バスケットボール部

第30回 大阪招待高等学校バスケットボール大会優勝!

大阪市舞洲アリーナ 4月3日(金)~4日(土)

- 1位 安城学園高等学校
2位 湯沢翔北高等学校
3位 浜松開誠館高等学校

決勝では秋田の湯沢翔北を67-35で破り、優勝することが出来ました。納得のいく内容ではなく、多くの課題が残る大会でした。その課題を1つ1つクリアしていくために、日々の練習に一生懸命に励み、インターハイに向けて、今頑張っています。これからも応援よろしくお願いします。



第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会(近畿総体)

京都学園大学体育館、京都市横大路運動公園体育館 他
7月29日(木)~8月3日(月)

3年
土田帆乃香
大木中学校出身

京都インターハイに向けて

私たち女子バスケットボール部は、稲永スポーツセンターで行われた県大会で準優勝し、京都府で開催されるインターハイへの出場が決定しました。今年は、3年連続での出場となります。昨年は、2回戦敗退と悔しい結果で終わってしまったので、今年はその結果を超えられるように、1つ1つの試合を大切にし確実に勝ち進み、仲間と協力し合いながら戦っていききたいと思います。そして、インターハイに出場できるということに感謝し、日頃から私たちのことを支えてくれている先生方や、保護者の方々、応援してくれている方々への感謝の心を忘れずに、試合に臨みます。これからも、日本一を目指して頑張っていくので、応援よろしくお願いします。

女子サッカー部

第69回愛知県高等学校総合体育大会

豊田スタジアム芝生広場 4月29日(水)~5月31日(日)



県総体で準優勝!

2年
加藤 遥
関緑ヶ丘中学校出身

新1年生の11名を加え総勢26名で総体県大会に臨みました。怪我の癒えない部員が多い中、予選リーグ1位で通過し、決勝トーナメントに進出。準々決勝は岡崎商業に5-0で完勝。準決勝では至学館の攻防に苦戦する場面がありながらも2-1で勝利。2大会連続となる県決勝では、新人戦の決勝でも戦った聖カピタニオ女子との一戦でした。互いを認め合うチーム同士の一戦、押し込む時間帯がありながらも0-3で惜しくも準優勝でした。チームの総力を上げて、次の大会でリベンジしたいです。これからも「強くても魅力的で、やがいのあるサッカー」を目指して日々努力していきます。

女子ソフトボール部

第60回全国私学女子ソフトボール選抜大会

三重県熊野市山崎運動公園健康運動広場
3月26日(木)~3月30日(月)



大会に出場して

3年
松本麻由
矢作北中学校出身

全国から48校が集まり大会が開催されました。予選リーグを1勝2敗で終え2部トーナメントに進みましたが、力を出し切れず負けてしまい、チームの未熟さを痛感し多くの課題が見つかりました。また、全国の強豪校と戦い、勝負の厳しさや最後まで諦めない強い気持ちも学びました。7月下旬に行われる県選手権は、負ければ3年生は引退となる大会です。「自信こそ勝利の条件である」を合言葉に県選手権で優勝し、中日本大会の出場権を勝ち取ります。今まで応援してくださった皆さんに恩返しができるように最後まで全力で戦います。



1学期大会・試合結果

◇男子バスケット部

- ・高校総体西三河予選 準優勝(4/25・26・29)
- ・高校総体愛知県大会 4位(5/23・24・30)

◇女子バスケット部

- ・第30回 大阪招待高等学校バスケットボール大会優勝(4/3・4)
- ・近畿インターハイ 出場
- ・高校総体西三河予選 優勝(4/26・29)
- ・高校総体愛知県大会 準優勝(5/23・24・30)
- ・高校総体東海大会 4位(6/20・21)

◇陸上競技部

- ・高校総体西三河予選会(5/2・3・4)
 - 男子総合2位(トラック4位・フィールド優勝)
 - 女子総合2位(トラック2位・フィールド優勝)
- ・愛知県高校総体(5/22・23・24)
 - 男子総合4位(フィールド優勝) 女子総合4位
- ・高校総体東海大会(6/19・20・21)
 - 男子
 - 2年 白藤聖陽(矢作) 砲丸投3位 円盤投14位 ハンマー投記録なし
 - 3年 大浦優汰(六ッ美) 八種競技2位 やり投10位
 - 池之上昂希(六ッ美) ハンマー投8位
 - 女子 総合4位
 - 1年 宇野佑紀(常磐) 800m3位
 - 古橋佳奈(桜田) 100mH7位
 - 2年 金子明奈(安祥) 円盤投16位
 - 3年 中野真琴(豊橋東部) 100mH優勝 100m3位
 - 金城柚花(鶴城) 走高跳4位
 - 4×100mR5位
 - 2年 掛川 菜(豊明栄)
 - 3年 中野真琴(豊橋東部)
 - 1年 古橋佳奈(桜田)
 - 2年 古賀珠那(竜北)
 - 4×400mR5位
 - 2年 古賀珠那(竜北)
 - 3年 中野真琴(豊橋東部)
 - 1年 古橋佳奈(桜田)
 - 2年 掛川 菜(豊明栄)
- ・第99回 日本陸上競技選手権大会(6/26・27 新潟県)
 - 3年 中野真琴(豊橋東部) 女子200m(24秒38) 日本陸上6位

◇ソフトボール部

- ・第60回全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会出場(3/26～30)
- ・高校総体西三河予選 4位(4/18～26)
- ・高校総体愛知県大会 ベスト8(5/23～30)

◇卓球部

- ・高校総体 西三河予選 団体 準優勝(4/29)
 - ダブルス 優勝 3年 小山真依(岡崎南)・2年 成瀬由梨(足助)(5/2)
 - 準優勝 3年 成尾 瞳(前林)・岸 莉穂(一色)
 - シングルス 3位 3年 成尾 瞳(前林)(5/3)
- ・高校総体 県予選 団体 4位(5/23)
 - ダブルス 2回戦敗退(5/24)
 - シングルス ベスト32(5/31)
- ・高校総体 東海大会 団体 出場(6/20・21)

◇バレーボール部

- ・高校総体西三河予選 5位(4/25・26)
- ・高校総体県大会 出場(5/23)

◇ハンドボール部

- ・高校総体西三河予選 第3位(4/25・26・29)
- ・高校総体県大会 出場(5/23)

◇野球部

- ・平成27年春季西三河高校野球大会 1次予選4位(3/26)

◇バドミントン部

- ・高校総体三河予選(4/18・19・25・26)
 - 女子団体 3位 県大会出場
- ・女子ダブルス
 - ベスト16 3年 榊原百伽(平坂)・2年 大場まい(大府) 県大会出場
 - ベスト16 3年 木束澤奈(矢作北)・1年 佐久間璃子(大府北) 県大会出場
- ・高校総体県大会(5/23・24)
 - 女子団体 ベスト16
 - 女子ダブルス
 - 一回戦 3年 榊原百伽(平坂)・2年 大場まい(大府)
 - 一回戦 3年 木束澤奈(矢作北)・1年 佐久間璃子(大府北)

◇男子サッカー部

- ・高校総体西三河予選 1回戦(4/19)

◇女子サッカー部

- ・高校総体県予選 準優勝(5/31)
- ・県高校リーグ1部(5月～12月)
- ・東海プリンスリーグ2部(5月～12月)

◇ソフトテニス部

- ・高校総体西三河予選 団体4位(4/25・26) 県大会出場
- ・高校総体県大会 団体ベスト16(5/24)

◇男子硬式テニス部

- ・高校総体西三河予選 シングルス ブロックベスト8(4/19)

◇女子硬式テニス部

- ・高校総体西三河予選 個人戦シングルス ブロックベスト8(4/11)

◇ダンス部

- ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会東海大会第2位(6/14)

◇アーチェリー部

- ・愛知県高校春季アーチェリー大会 男子5名・女子2名 予選通過(4/29)
- ・高校総体県大会 3年 森 美里(川崎麻生) 女子個人9位(5/17)
- ・高校総体東海大会 3年 森 美里(川崎麻生) 女子個人36位(6/20)

生徒会リーダーズ合宿

愛知県青年の家(岡崎市美合) 5月30日(土)～31日(日)

49名が大いに触発を受けました。岡崎にある「青年の家」で、生徒49名(生徒会・代議員会・代表者会・学園祭実行委員)、教員13名(部分参加含)による合宿を行いました。日曜日の夕方に解散するまでに、講演や討議が7つもある濃密なメニューですが、経験のある上級生が準備段階から指導力を発揮し、各班についた生徒会顧問の先生も要所でアドバイスをして作り上げます。今年は「卒業生の話」として2014年度卒業生の三浦亮太くんと2008年度卒業生の加藤由樹くんがミニ講演をしました。加藤君は廣中先生と同級生で、学園祭実行委員長や生徒会長などを務めました。加藤君の「実行委員長だったとき、心に決めたことは『誰よりも早く実行室に行き、誰よりも遅く帰る』こと。朝は実行室の掃除をしてからSTに行き、帰りは一人ひとりの顔を見て『お疲れさま』と言うようにした。そうするとみんなの表情の変化が分かるようになった。嬉しそう顔の時は『そのチームの仕事が進んだということだな』とすかさず声をかけた。『自分を見てくれる人がある』と思ってもらえるようにしていたら、気づいたら実行委員が増えていた。今は、僕らとは環境も状況もまた違う。自分たちは自分たちでできるんだと思ってほしい。『去年や過去と比べてどうか』なんてどうでもいいこと。自分たちにできることを全力で出し切ることが大切」という話には学ぶところが多くありました。合宿では、10年前、クラスで戦後60年の企画に取り組んだ中野先生のお話を聞いたり、学園祭のテーマについて話し合ったりもしました。多くの生徒が触発を受けて帰途につきました。



参加者の声

こんなにもハイレベルな討議をし、ズバズバと自分の意見を言っていく先輩を見て「わあ、こういう芯の強い人がいるから学校がなりたっているんだな、見習わないとな」と思いました。しっかりと考え、経験や知識などあらゆるところから素材を集め、討議を作り上げた各班の先輩方、同学年の仲間を見て、僕も今度は作り上げる中心核のメンバーになって、自分が考えていることを発信できるようになりたいと思いました。(参加した1年生)

学校全体のために話しながらも、自分にとっても良い勉強、考える機会に なれました。これから、副級長としてクラス全体を級長をサポートしながらまとめていかなきゃいけないし、執行部として学年にもしっかりと目を向けて、自分なりにたくさん行動していけたらと思います。…今までのマイナス思考を改めて、リーダーらしく、合宿で学んだことを生かしていきたいです。(参加した2年生)

生徒会紹介



前期生徒会方針は「コトの羽(は)」です。「ことのは」は「言葉」。人の口から出た「言」の「葉」により私たちは人の思いを知り、意味を想像します。「羽」の文字に込められた通り、フットワークを軽くして様々な情報を集め、発信する。今年度は「発信」に重点を置いて活動します。今年の学園祭テーマは「祈年～命がつなぐ、未来への一歩～」です。平和を願う気持ち、戦争や災害から立ち直るための様々な思い、命を慈しみ大切に感じる精神、未来への希望。これらをすべて「祈」の一文字に集約される「年」の学園祭にしたいと考えています。9月26日(土)の一般公開にぜひご来場ください。

前期生徒会メンバー紹介

生徒会長	3年	蔵本 紗智	(豊南中学校出身)
副会長	2年	平井 那衣梨	(梅坪台中学校出身)
書記	3年	神谷 美帆	(高浜南中学校出身)
書記	2年	岩田 麗愛	(安城北中学校出身)
会計	2年	山口 祐希	(大高中学校出身)
会計	2年	野平 皇	(末野原中学校出身)
渉外	3年	村松 亜美	(六ツ美中学校出身)
渉外	2年	笠井 瑞貴	(安祥中学校出身)